

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>0 建築物の環境品質</b>								<b>3.3</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>			<b>2.8</b>	<b>3.0</b>	<b>1.00</b>			<b>2.8</b>
<b>1.1 騒音</b>			<b>3.0</b>	<b>4.0</b>	<b>0.40</b>			
1.1.1 騒音								
1 暗騒音レベル		閑静な保養地に位置し、幹線道路からも離隔がある	3.0	4.0	1.00			
2 設備騒音対策			-	-	-			
<b>1.2 遮音</b>			<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	<b>0.40</b>			
1.2.1 遮音								
1 開口部遮音性能			3.0	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能			3.0	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	3.0	0.20			
<b>1.3 吸音</b>			<b>2.0</b>	<b>1.0</b>	<b>0.20</b>			
<b>2 温熱環境</b>			<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	<b>1.00</b>			<b>3.0</b>
<b>2.1 室温制御</b>			<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	<b>0.50</b>			
2.1.1 室温制御								
1 室温設定			3.0	3.0	0.57			
2 負荷変動・追従制御性			-	-	-			
3 外皮性能			3.0	3.0	0.43			
4 ゾーン別制御性			3.0	3.0	-			
5 温度・湿度制御			-	-	-			
6 個別制御			-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮			-	-	-			
8 監視システム			-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>			<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	<b>0.20</b>			
<b>2.3 空調方式</b>			<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			
<b>3 光・視環境</b>			<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	<b>1.00</b>			<b>3.0</b>
<b>3.1 昼光利用</b>			<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			
3.1.1 昼光利用								
1 昼光率			3.0	3.0	0.60			
2 方位別開口			3.0	3.0	-			
3 昼光利用設備			3.0	3.0	0.40			
<b>3.2 グレア対策</b>			<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	<b>0.30</b>			
3.2.1 グレア対策								
1 照明器具のグレア			-	-	-			
2 昼光制御			3.0	3.0	1.00			
<b>3.3 照度</b>			<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	<b>0.15</b>			
3.3.1 照度			3.0	3.0	1.00			
2 照度均斉度			-	-	-			
<b>3.4 照明制御</b>			<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	<b>0.25</b>			
<b>4 空気環境</b>			<b>4.2</b>	<b>4.3</b>	<b>1.00</b>			<b>4.2</b>
<b>4.1 発生源対策</b>			<b>4.0</b>	<b>5.0</b>	<b>0.63</b>			
4.1.1 発生源対策								
1 化学汚染物質		発生源となる化学物質が含まれない仕上げ材料を使用する	4.0	5.0	1.00			
2 アスベスト対策			-	-	-			
3 ダニ・カビ等			-	-	-			
4 レジオネラ対策			-	-	-			
<b>4.2 換気</b>			<b>4.0</b>	<b>3.3</b>	<b>0.38</b>			
4.2.1 換気								
1 換気量		臭気を伴う部屋が多いため換気量を多く見込んでいる	4.0	4.0	0.33			
2 自然換気性能			3.0	1.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		熱交換機を使用しての外気取入れを行う	4.0	5.0	0.33			
4 給気計画			-	-	-			
<b>4.3 運用管理</b>			<b>5.0</b>	<b>-</b>	<b>-</b>			
4.3.1 運用管理								
1 CO <sub>2</sub> の監視			3.0	-	-			
2 喫煙の制御		全館禁煙とする	5.0	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>			<b>3.5</b>
<b>1 機能性</b>			<b>4.4</b>	<b>4.6</b>	<b>1.00</b>			<b>4.4</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>			<b>4.0</b>	<b>5.0</b>	<b>0.60</b>			
1.1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性		一人あたりの病室面積を8㎡以上とする	3.0	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応			3.0	3.0	-			
3 バリアフリー計画		高齢者の多い施設として、特にトイレに対策を施す	4.0	3.0	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>			<b>5.0</b>	<b>4.0</b>	<b>0.40</b>			
1.2.1 心理性・快適性								
1 広さ感・景観			3.0	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース			3.0	3.0	-			
3 内装計画		既存の石材などを再利用する	5.0	5.0	0.50			
<b>1.3 維持管理</b>			<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>			
1.3.1 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計			3.0	-	-			
2 維持管理用機能の確保			3.0	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>			<b>3.0</b>	<b>-</b>	<b>-</b>			<b>3.0</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>			<b>3.0</b>	<b>-</b>	<b>-</b>			
2.1.1 耐震・免震								
1 耐震性			3.0	-	-			
2 免震・制振性能			3.0	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>			<b>2.8</b>	<b>-</b>	<b>-</b>			
2.2.1 部品・部材の耐用年数								
1 躯体材料の耐用年数			3.0	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		更新間隔の長いダクトを採用する	4.0	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	-	-			

2.3 適切な更新			-	-	-	-	
2.4 信頼性			3.4	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	井水の利用が可能なように計画している	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備	保安電源として停電時の病室、便所の常夜灯を考慮している	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.5	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			3.0	0.31	2.0	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.3
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	敷地内の空地を極力確保し、植栽を施す	5.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制		断熱仕様を1ランクアップしている PAL=274.2MJ/m <sup>2</sup> 年	4.0	0.30	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=27.4	5.0	0.30	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.63	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	タイルカーペット、塩ビシート、岩綿吸音板	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	二重床、壁材など躯体と切り離された下地仕上げ材を使用する	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.22	-	-	3.8
3.1	有害物質を含まない材料の使用	特に接着剤の有害物質の含まない材料の使用を重点管理する	5.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤を使用しない	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		LCCO <sub>2</sub> 削減率 24%	4.9	0.33	-	-	4.9
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	感染対策に留意した廃棄物の分別処理を行う	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物に照明を使用しない、遮光カーテンにより光漏対策を行う	4.0	0.70	-	-	
2	曇光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	